

第 106 回日本陸上競技選手権大会

【出場結果】

実施日 : 6月9日(木) 1500m
会場 : 大阪府大阪市 ヤンマースタジアム長居
出場者 : 小林 航央
出場種目・出場者・リザルト

氏名	小 林
種目	1 5 0 0 m
組	予選2組(全2組)
タイム	3'48"14
順位	11/14位(予選敗退)

【レポート】

第18回世界陸上競技選手権大会の代表選考会を兼ねた、第106回日本陸上競技選手権大会が大阪市東住吉区のヤンマースタジアム長居で開催され、参加標準記録をクリアしている小林が1500mに出場しました。

1500mは予選2組に組分けされ、各組の上位5名とタイムの上位2名がプラスで決勝に進むことができ、2組目にエントリーされた小林は1組目がスローペースになったため、タイム上位2名のプラス枠を狙い、ハイペースの展開が予想される中でスタートしました。



日本のトップ選手が集う中、集中力を高めてスタートを待つ小林

レースは予想された通り、序盤からハイペースとなり 400m を 60 秒台で通過すると、小林は最後尾ながら、集団の動きを冷静に見てレースを進めました。



序盤は最後尾でレースを進める小林

先頭集団が 800m、1200m の通過を正確に 60 秒台の LAP で刻む中、小林もラストスパートに向けて位置取りを確保しながら前を伺う展開でレースは進みます。



残り 300m、ラストスパートに備える小林

先頭集団が予選通過ラインを確保するために残り 300m でスパートを仕掛けると、小林も必死に食らいつきましたが、ラスト 200m で身体が固まりだし、得意のラストスパートも影を潜め、動かない身体を懸命に前に進めて、組 11 位の 3 分 48 秒台でのゴールとなり、目標とする決勝には進めず、残念ながら予選敗退となりました。



現状持っている力は出し切った小林

【総 評】

今年は日本選手権に臨むにあたり、4月から金栗記念陸上や兵庫リレーカーニバルといった選抜選手が出場可能な日本グランプリシリーズのレースを転戦し、日本選手権本番でも十分勝負ができるというところまで順調に調子を上げてきていました。

しかし、5月に入ると一転して体調不良に見舞われ、更なる調整のために出場を計画していたゴールデンゲームズ in のべおか、東日本実業団選手権の欠場を与儀なくされました。

これにより、一時は日本選手権出場も危ぶまれる状態となり心配しましたが、本人のレースにかける集中力は凄まじいものがあり、「決勝進出」を目標に掲げられるレベルまで調子を戻してくることができました。

結果としては、日本のトップレベルが一同に集まる大会で、ベストコンディションで臨めないと勝負できないという現実を体感することとなりましたが、本人は今回の結果に対しての「原因」と「課題」を明確にしており、来年の日本選手権こそ、再び参加標準記録をクリアし、ベストな状態で日本一を争う場所に戻ってきてくれることを楽しみに待ちたいと思います。

ご声援をいただきました多くの皆さまには、この場をお借りして御礼申し上げます。
今後も皆さまに愛されるチームを目指し、日々の地道な練習に励んで参ります。
引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。